

.....

レイチエルの耳元で、頭の中で、いや、脳のもっと深い場所で、悪意に満ちた邪悪な「声」が鳴り響いたのだ。

「モットダ モット、モット、モット苦シンデ、悶エ狂ウガイ
イ：：：：」

その言葉が聞こえた直後、乳房を乱暴に揉みしだいていた触手たちが拘束を解き、爆乳に対する執着を止めて離れた。

押し潰されてしまうのではないか、と思えるような強い圧迫から解放されてホッと息を吐いたのも束の間。背後から迫った触手が、大きくしなり、レイチエルの桃尻めがけて放たれたのだ。

続きは本編でお愉しみください。